

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-222
評価技術名称					連絡先			
構造用合板補強工法					http://www.			
大壁「1間 横使い」裏棧あり					〒			
					電話		Fax	
概要	技術概要 構造用合板を横向きで用いて、1間の壁面を補強する工法。							
	技術の特徴						コスト	
	<ul style="list-style-type: none"> 1間の間に柱がない場合に有効。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面	32,615 円/kN
							設計見積り例	—
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関			
機関名					名古屋工業大学			
評価番号					その他			
評価取得日								
仕様	適用範囲							
	構法	木造在来軸組工法						
	規模	3階建て以下						
	基礎、地盤	特になし						
	適用部位	内外壁						
	その他	特になし						
	主要構成部材の仕様							
	構造用合板 厚 12mm 以上 横使い							
	釘 N50、CN50 @100 以下							
	間柱なし、継手受材あり							
耐震性能								
評価仕様: 大壁直貼仕様								
壁基準耐力				壁基準剛性				
4.68kN/m				1206kN/rad./m				
A-111 からの低減係数 $\alpha = 0.9$ 壁基準耐力 $5.2 \times 0.9 = 4.68$								
設計方法								
①柱接合部による低減 取付部分が健全であること								
②劣化による低減 取付部分が健全であること								
施工者指定								
特になし								
その他								
写真・図								
<p>大壁 裏棧あり</p> <p>構造用合板 厚 12mm 以上</p> <p>釘 N50、CN50 @100mm 以下</p> <p>四周打ち</p> <p>継手受材 30×90mm 以上</p> <p>柱に対し 2-N75 斜め打ち</p>								